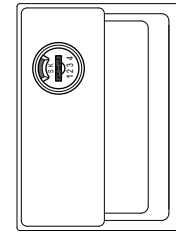
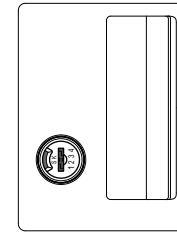


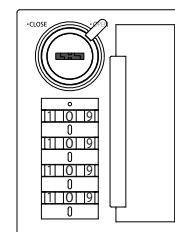
錠前の使い方



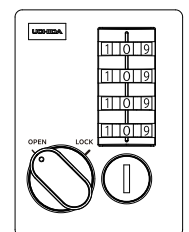
内筒交換錠(UPL)



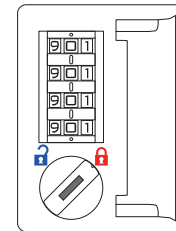
内筒交換錠(UCL)



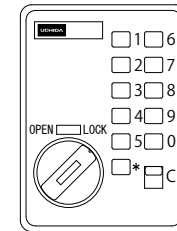
引手付ダイヤル錠(UDN)



ダイヤル錠(UDG)



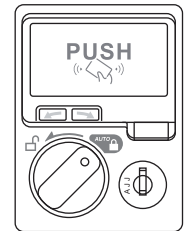
オートリセットダイヤル錠



オートロック錠



ICカード錠



ICカード錠オート・履歴

錠前の使い方は、下記URL、QRコードから電子ファイル（PDF）をダウンロードできます。

https://www.uchida.co.jp/support/manual/pdf/storage_keys.pdf



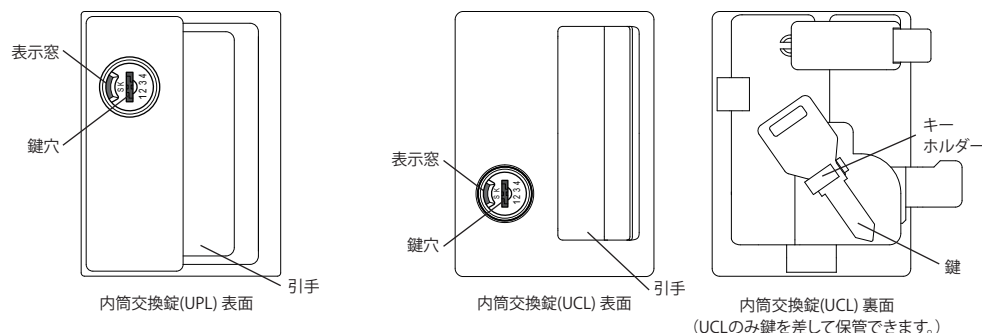
ご使用になる前に、この『鍵の使い方』を収納本体の取扱説明書と合わせてよくお読みの上、ご使用ください。また、いつでもお読みになれるように保管場所を決めて大切に保管してください。

【内筒交換錠 (UPL、UCL) の使い方】	 P. 1
【引手付ダイヤル錠 (UDN) の使い方】	 P. 2
【ダイヤル錠 (UDG) の使い方】	 P. 4
【オートリセットダイヤル錠の使い方】	 P. 5
【オートロック錠の使い方】	 P. 7
【ICカード錠の使い方】	 P. 9
【ICカード錠オート履歴の使い方】	 P. 13
【ICカード錠、ICカード錠オート履歴 共通】	 P. 23
【製品に関するお問い合わせ先】	 P. 26

錠前の使い方は、下記URL、QRコードから電子ファイル (PDF) をダウンロードできます。
https://www.uchida.co.jp/support/manual/pdf/storage_keys.pdf



【内筒交換錠 (UPL、UCL) の使い方】



■施錠方法

鍵穴に鍵を差し込み、反時計回りに90° 回すと鍵がかかると同時に表示窓が赤色になります。



■解錠方法

鍵穴に鍵を差し込み、時計回りに90° 回すと鍵が開くと同時に表示窓が白色になります。

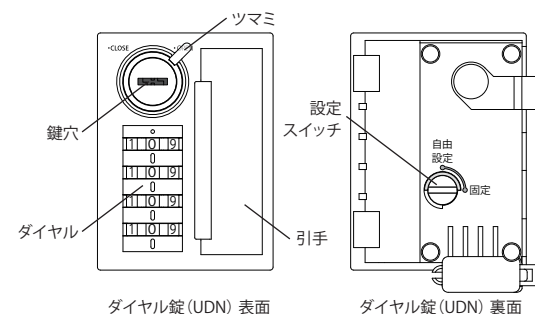


- ・扉が完全に閉まっていることを確認して施錠してください。
- ・施錠した後は、必ず鍵を抜いて大切に保管してください。

【引手付ダイヤル錠 (UDN) の使い方】

1.お使いになる前に

- ・本製品は、暗証番号を固定して使う固定式 (メンバーモード) と施錠するたびに変更できる自由変換式 (ビジターモード) の2種類があり、裏面の設定スイッチで切り替え可能です。
- ・製品納品時の暗証番号は、固定式の「0000」に設定されています。暗証番号を変更してご使用ください。
- ・「1234」などわかりやすい暗証番号は避けてください。
- ・暗証番号は忘れないようにメモをとってください。



■固定式 (メンバーモード)

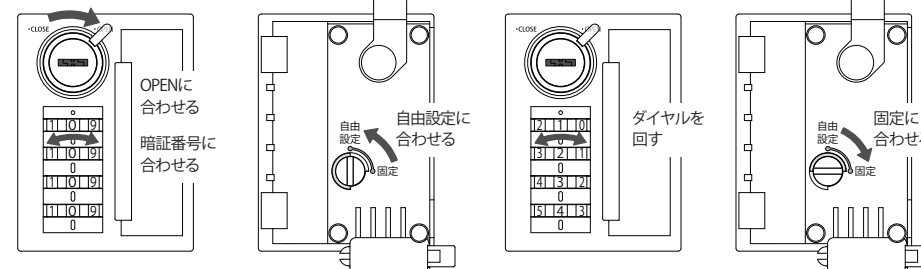
毎回同じ暗証番号を使って扉の施錠・解錠ができます。特定の人が使うときにお選びください。

2.固定式の暗証番号の変更方法

- 1 表面のダイヤルを暗証番号を合わせ、ツマミをOPENの位置に合わせてください。
- 2 ゼムクリップなどを使って裏面の設定スイッチを自由設定に合わせてください。
- 3 表面のダイヤルを設定したい番号に合わせてください。
- 4 ゼムクリップなどを使って裏面の設定スイッチを固定に合わせてください。

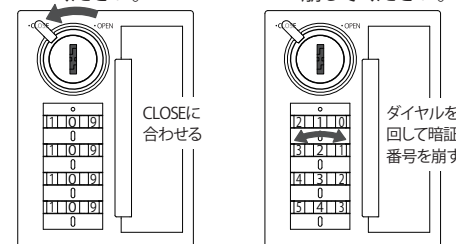


設定スイッチを固定に切り替えたとときのダイヤルの番号が暗証番号になります。



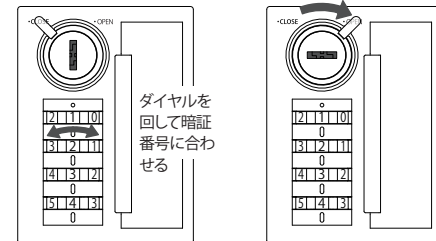
3.固定式の施錠方法

- 1 表面のツマミがOPENになっていることを確認し、扉を閉めます。
- 2 表面のツマミをCLOSEの位置に合わせてください。
- 3 表面のダイヤルを回し暗証番号を崩してください。



4.固定式の解錠方法

- 1 表面のダイヤルを回して暗証番号を合わせてください。
- 2 表面のツマミをOPENの位置に合わせ、扉を開けてください。



扉を開けた後は、暗証番号のぞき見防止のため、暗証番号を崩してください。

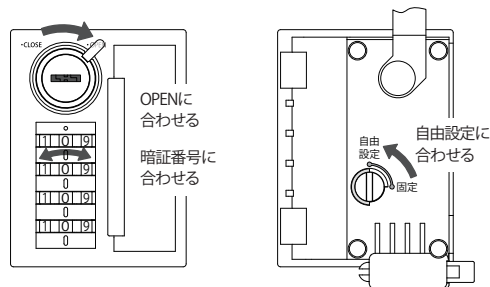
1▶3▶2 この手順でも施錠できます。

■自由変換式(ビジターモード)

施錠したときのダイヤルの番号が、そのまま暗証番号になります。扉の開閉ごとに暗証番号を変えて扉の施錠・解錠ができます。不特定多数の人が使うときにお選びください。

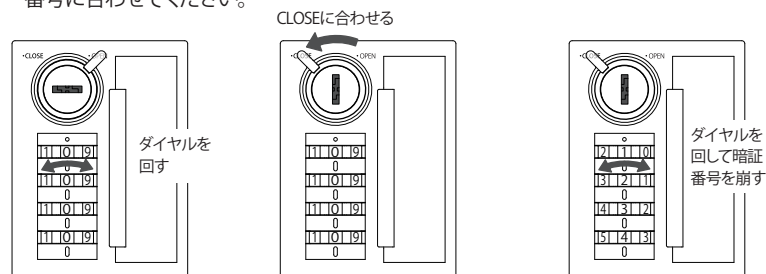
5.固定式から自由変換式への切替方法

- 1 表面のダイヤルを暗証番号を合わせツマミをOPENの位置に合わせてください。
- 2 クリップなどを使って裏面の設定スイッチを自由設定に合わせてください。



6.自由変換式の施錠方法

- 1 裏面の設定スイッチが自由設定になっていることを確認してください。
- 2 扉を閉めて、表面のダイヤルを設定したい番号に合わせてください。
- 3 表面のツマミをCLOSEの位置に合わせてください。
- 4 表面のダイヤルを回して暗証番号を崩してください。



7.自由変換式の解錠方法

自由変換式の解錠方法は、「4.固定式の解錠方法」と同じです。

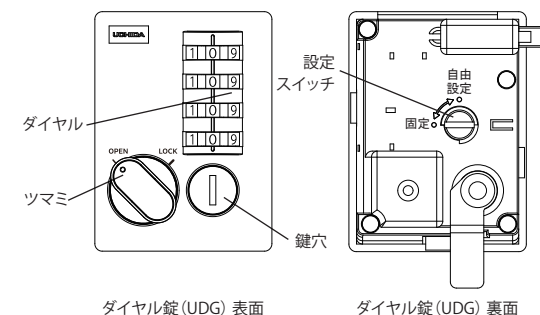


- ・暗証番号を変更するときは、ツマミが必ずOPENの位置にあることを確認して、ダイヤルを正確な位置に合わせて設定してください。ダイヤルが中途半端な位置にある状態で、設定スイッチを回すと錠前が破損する恐れがあります。
- ・扉を閉めるときは、必ずツマミをOPENの位置にあることを確認してください。CLOSEの状態で扉を閉めると、錠前と収納本体が破損する恐れがあります。

【ダイヤル錠(UDG)の使い方】

1.お使いになる前に

- ・本製品は、暗証番号を固定して使う固定式(メンバーモード)と施錠するたびに変更できる自由変換式(ビジターモード)の2種類があり、裏面の設定スイッチで切り替え可能です。
- ・製品納品時の暗証番号は、固定式の「0000」に設定されています。暗証番号を変更してご使用ください。
- ・「1234」などわかりやすい暗証番号は避けてください。
- ・暗証番号は忘れないようにメモをとってください。



■固定式(メンバーモード)

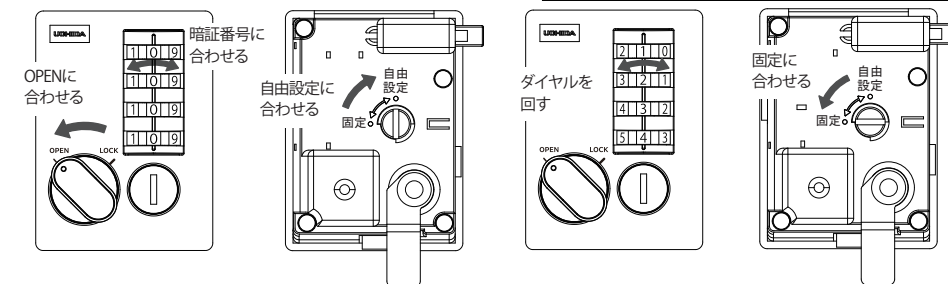
毎回同じ暗証番号を使って扉の施錠・解錠ができます。特定の人を使うときにお選びください。

2.固定式の暗証番号の変更方法

- 1 表面のダイヤルを暗証番号を合わせツマミをOPENの位置に合わせてください。
- 2 ゼムクリップなどを使って裏面の設定スイッチを自由設定に合わせてください。
- 3 表面のダイヤルを設定したい番号に合わせてください。
- 4 ゼムクリップなどを使って裏面の設定スイッチを固定に合わせてください。

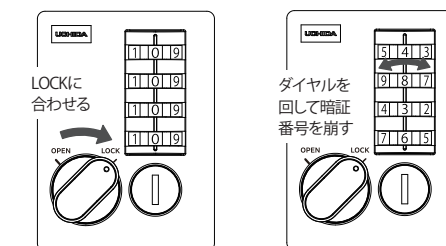


設定スイッチを固定に切り替えたときのダイヤルの番号が暗証番号になります。



3.固定式の施錠方法

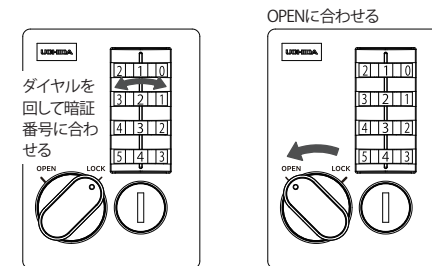
- 1 表面のツマミがOPENになっていることを確認し、扉を閉めます。
- 2 表面のツマミをLOCKの位置に合わせてください。
- 3 表面のダイヤルを回し暗証番号を崩してください。



1・3・2 この手順でも施錠できます。

4.固定式の解錠方法

- 1 表面のダイヤルを回して暗証番号を合せてください。
- 2 表面のツマミをOPENの位置に合わせ、扉を開けてください。



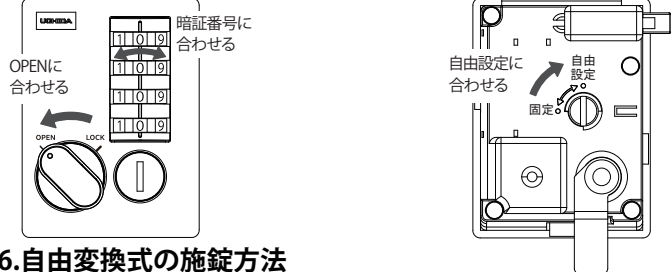
扉を開けた後は、暗証番号ののぞき見防止のため、暗証番号を崩してください。

■自由変換式(ビジターモード)

施錠したときのダイヤルの番号が、そのまま暗証番号になります。扉の開閉ごとに暗証番号を変えて扉の施錠・解錠ができます。不特定多数の人が使うときにお選びください。

5.固定式から自由変換式への切替方法

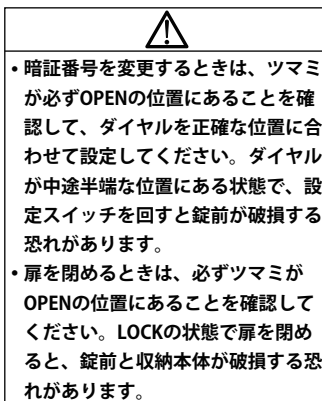
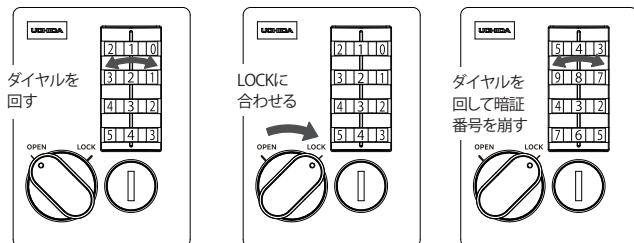
- 1 表面のダイヤルを暗証番号に合わせツマミをOPENの位置に合わせてください。
- 2 クリップなどを使って裏面の設定スイッチを自由設定に合わせてください。



6.自由変換式の施錠方法

- 1 裏面の設定スイッチが自由設定になっていることを確認してください。

- 2 扉を閉めて、表面のダイヤルを設定したい番号に合わせてください。
- 3 表面のツマミをLOCKの位置に合わせてください。
- 4 表面のダイヤルを回して暗証番号を崩してください。



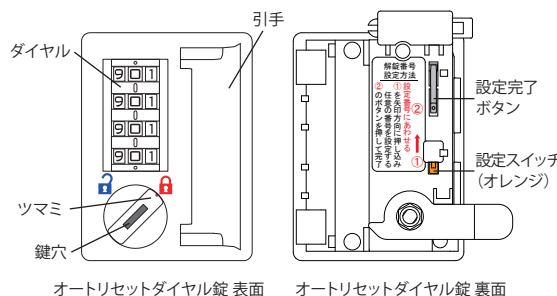
7.自由変換式の解錠方法

自由変換式の解錠方法は、「4.固定式の解錠方法」と同じです。

【オートリセットダイヤル錠の使い方】

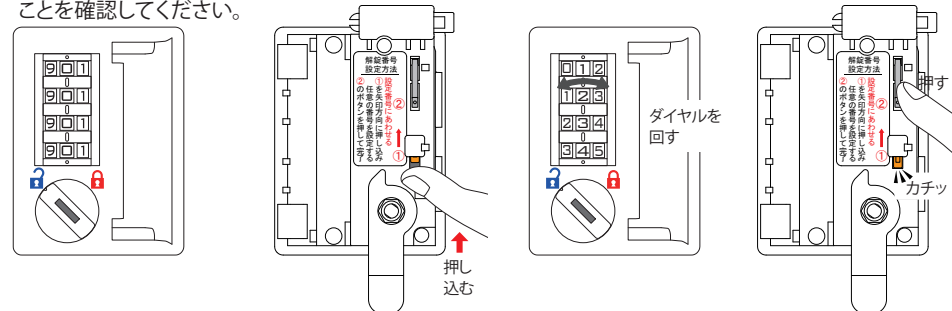
1.お使いになる前に

- ・製品納品時は、暗証番号未設定の「0000」の状態になっています。暗証番号を設定してご使用ください。
- ・本製品は、ツマミを回すとダイヤルが「0000」にリセットされるようになっています。(速く回すと戻りきらない場合があります。)
- ・暗証番号は「0001」～「9999」まで設定できます。「0000」は、リセット状態の番号なので、使用しないでください。
- ・「1234」などわかりやすい暗証番号は避けてください。
- ・暗証番号は忘れないようにメモをとってください。



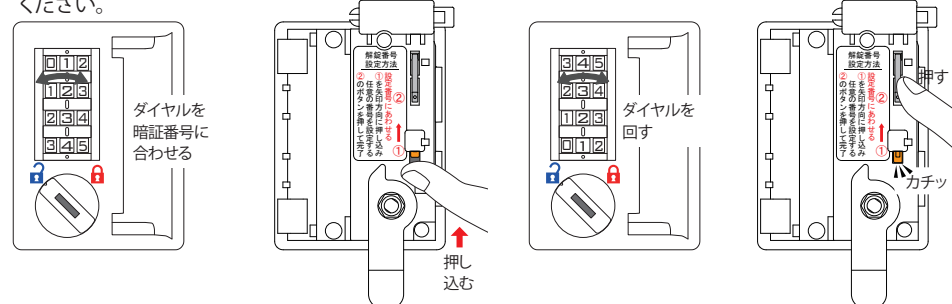
2.暗証番号の初期設定方法

- 1 表面のツマミが ? の位置にあり、ダイヤルが「0000」になっていることを確認してください。
- 2 裏面の設定スイッチを ↑ 矢印方向に押し込んでください。
- 3 表面のダイヤルを設定したい番号に合わせてください。
- 4 裏面の設定完了ボタンを押すと設定スイッチが戻り、設定完了です。



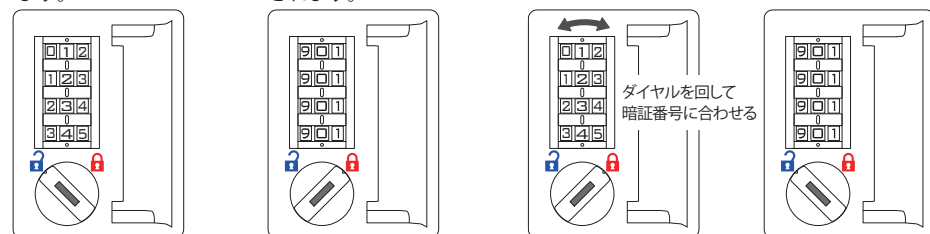
3.暗証番号の変更方法

- 1 表面のツマミを ? の位置にして、ダイヤルを暗証番号に合わせてください。
- 2 裏面の設定スイッチを ↑ 矢印方向に押し込んでください。
- 3 表面のダイヤルを設定したい番号に合わせてください。
- 4 裏面の設定完了ボタンを押すと設定スイッチが戻り、設定完了です。



4.施錠方法

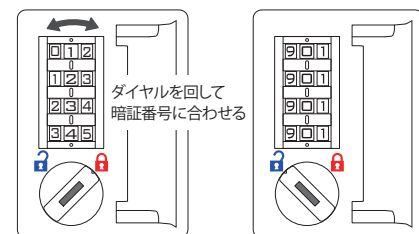
- 1 表面のツマミが ? の位置にあることを確認して、扉を閉めます。
- 2 表面のツマミを ? の位置まで回すと、ダイヤルがリセットされ、施錠されます。



⚠ ツマミを回すたびに「0000」にリセットされます。速く回すと戻りきらない場合があります。

5.解錠方法

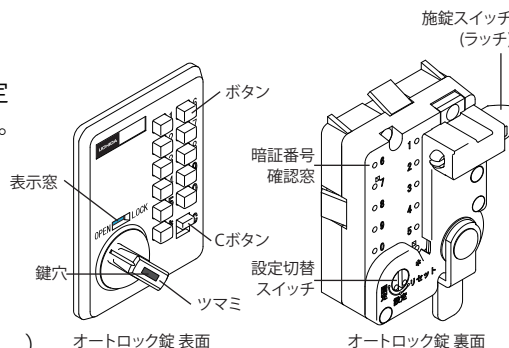
- 1 ダイヤルを回して、設定した暗証番号に合わせます。
- 2 表面のツマミを ? の位置まで回すと、解錠されます。



【オートロック錠の使い方】

1.お使いになる前に

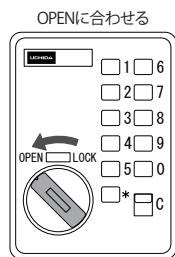
- ・製品納品時、暗証番号は未設定に、設定切替スイッチは「設定」になっています。暗証番号を設定してご使用ください。
- ・暗証番号は、1～11桁まで設定できます。
- ・暗証番号に、重複した番号（例えば、「001」など）は設定できません。
- ・暗証番号を押す順番は関係ありません。（例えば、「01」と「10」は同じです。）



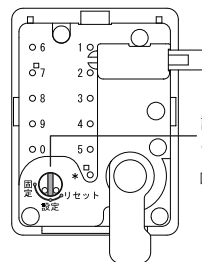
- ・「1234」などわかりやすい暗証番号は避けてください。
- ・暗証番号は忘れないようにメモをとってください。

2.初回暗証番号の設定方法

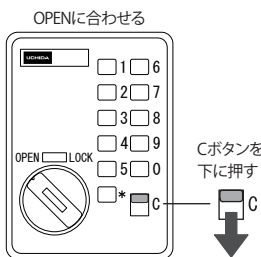
- 1** 表面のツマミをOPENの位置に合わせてください。



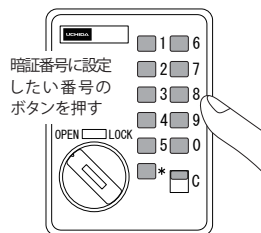
- 2** 裏面の設定スイッチが設定になっていることを確認してください。



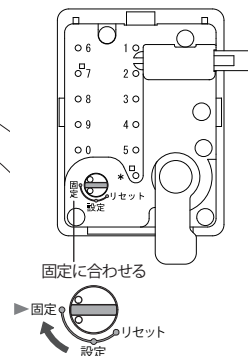
- 3** 表面のCボタンを下に押して、番号をクリアします。



- 4** 表面のボタンを押して暗証番号を設定してください。間違えたときはCボタンを押して再設定してください。



- 5** ゼムクリップなどを使って裏面の設定スイッチを固定に合せてください。



3.施錠方法

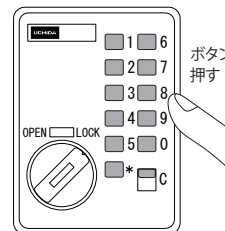
- 1** 暗証番号を設定した後、扉をゆっくりと閉めると自動でツマミが回転し、施錠されます。



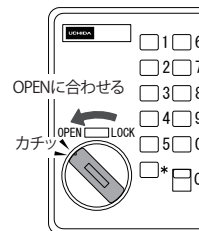
- ・扉を閉めるときは、ツマミを持たないでください。オートロック機能が作動しないことがあります。
- ・扉を閉める前に施錠スイッチに触れると施錠状態になることがあります。施錠状態になったときは、4の解錠操作をして、扉を閉めてください。

4.解錠方法

- 1** 表面のボタンで設定した暗証番号を押してください。



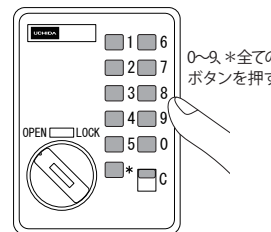
- 2** 表面のツマミをOPENの方向に「カチッ」と音がするまで回して解錠し、扉を開けてください。



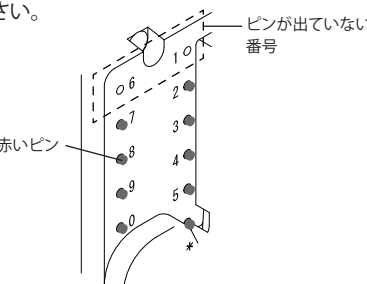
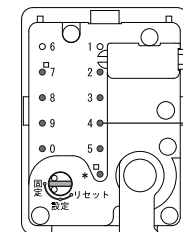
ツマミはOPENの位置まで確実に回してください。途中で放すとCLOSEの位置に戻ってしまいます。

5.暗証番号の確認方法（扉が開いた状態でのみ確認できます。）

- 1** 扉を開けて表面の0～9、*全てのボタンを押します。



- 2** 裏面の暗証番号表示窓を見て、赤いピンが出ていない番号を確認してください。

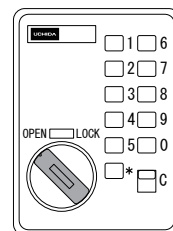


- ・全てのボタン（Cボタン以外）をもれなく、確実に押してください。押し忘れがあると、暗証番号の確認ができません。
- ・赤いピンの出ていない番号が暗証番号です。（上の図の例では、「16」が暗証番号です。）

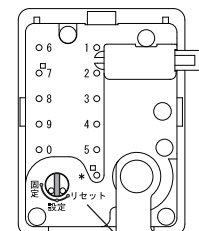
6.暗証番号の変更方法

- 1** 4の方法で解錠し、扉を開ける。

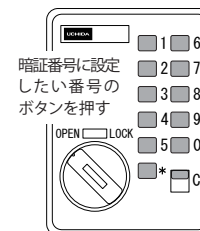
- 2** ツマミがOPENになっていることを確認する。



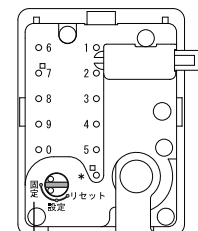
- 3** ゼムクリップなどで、裏面の設定スイッチを一旦リセットの位置までカチッと音がするまで回してから、設定に戻す。



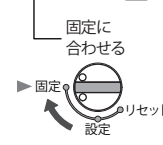
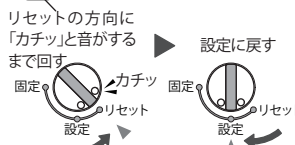
- 4** 表面のボタンを押して暗証番号を設定する。間違えたときはCボタンを押して再設定する。



- 5** ゼムクリップなどで、裏面の設定スイッチを固定に合せる。



- 3**の作業の前にCボタンを押さないでください。押してしまった場合は再度**1**からやり直してください。そのまま操作すると破損する恐れがあります。

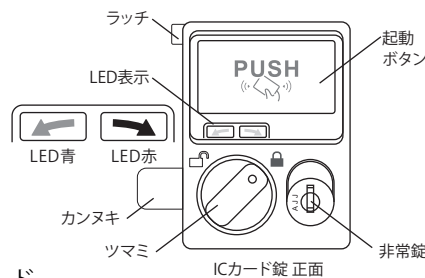


【ICカード錠の使い方】

1.お使いになる前に

①ICカードについて

- 本製品は、FeliCa、MIFAREに対応しています。
※ FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
※ MIFARE ISO/IEC14443 TypeA は、NXPセミコンダクターズの登録商標です。
- 本製品のご利用いただくには、ICカード錠用カードセット（別売）が必要です。
※ ICカード錠用カードセットには、「モード設定カード（メンバー）」、「モード設定カード（ビジター）」、「音量設定カード」、「メンバー登録カード」、「メンバー削除カード」が含まれています。



②モード設定について

- 本製品は、メンバーモードとビジターモードの2種類があり、切り替えが可能です。
- 本製品は、納品時にはビジターモードに設定されています。メンバーモードへの切り替えにはモード設定カード（メンバー）をご利用ください。

ビジターモード（納品時）

お手持ちのICカードで、その都度 施錠、解錠ができます。解錠後には、ICカードの情報ガリセットされるので、別のユーザーが利用可能になります。

メンバーモード

事前に登録したICカードでのみ施錠、解錠ができます。

③非常解錠キーについて

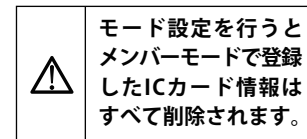
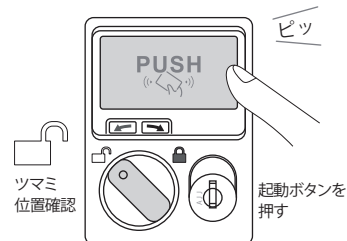
- ICカードを紛失された場合など、非常時の解錠には、非常解錠キー（別売）が必要です。

④電池について

- 本製品は、単3 アルカリ乾電池 4本で動作します。新品乾電池の寿命の目安は 1日 10回 使用して約2年です。
- 納品時にセットされている電池は動作確認用です。新品乾電池の寿命を保証するものではありません。
- 電池交換の方法。（P.23）
- 電池残量の確認方法。（P.23）

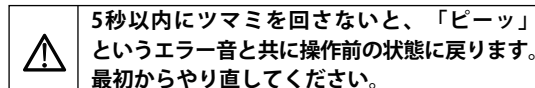
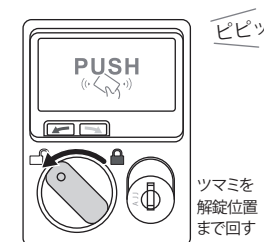
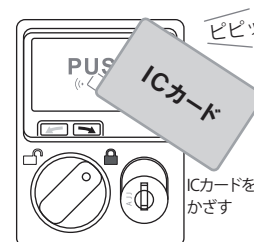
2.モード設定方法

- 1 ツマミが になっていることを確認して、起動ボタンを押してください。
- 2 モード設定カード（メンバー）または、（ビジター）をかざし、モードを変更してください。



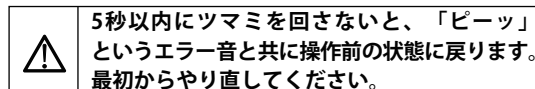
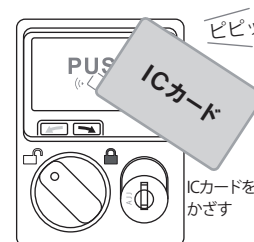
3.解錠方法

- 1 起動ボタンを押してください。
- 2 ICカードをかざします。
- 3 ICカードをかざして5秒以内にツマミを に回して解錠します。



4.施錠方法

- 1 起動ボタンを押してください。
- 2 ICカードをかざします。
- 3 ICカードをかざして5秒以内にツマミを に回して施錠します。



5.ICカードの登録方法（メンバーモードのみ）

- 1 ツマミがになっていることを確認して、起動ボタンを押してください。
- 2 登録カードをかざしてください。登録モードが開始されます。
- 3 登録したいICカード錠をかざします。複数のカードを1枚ずつ、続けてかざすことで、連続して登録できます。



- 4 再度メンバー登録カードをかざすと登録モードが終了します。



- 最後の操作から10秒間操作しないままにすると登録モードは、自動的に終了します。
- すでに登録されているICカードをかざすと「ビピッ」と鳴りますが、登録情報に変更はありません。
- ICカードの最大登録数は500枚です。501枚目は、登録できずに「ピーッ」とエラー音が鳴ります。その際は、7のICカードの削除方法で登録枚数を減らしてから、登録してください。

6.ICカードの追加登録方法（メンバーモードのみ）

5と同じ要領で登録してください。登録済みのICカード情報は消えずに登録できます。

7.ICカードの削除方法（メンバーモードのみ）

- 1 ツマミがになっていることを確認して、起動ボタンを押してください。
- 2 削除カードをかざしてください。削除モードが開始されます。
- 3 削除したいICカード錠をかざします。複数のカードを1枚ずつ、続けてかざすことで、連続して削除できます。



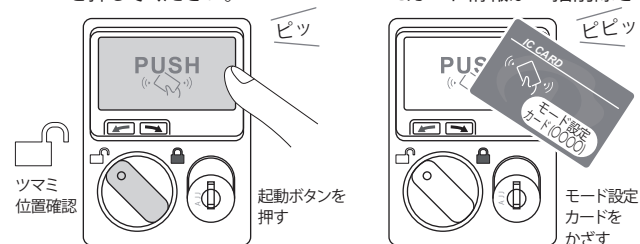
- 4 再度メンバー削除カードをかざすと削除モードが終了します。



- 最後の操作から10秒間操作しないままにすると削除モードは、自動的に終了します。
- すでに削除されたICカードや、登録されていないICカードをかざすと、「ピーッ」とエラー音が鳴ります。

8.登録済みICカード情報の一括削除方法（メンバーモードのみ）

- 1 ツマミがになっていることを確認して、起動ボタンを押してください。
- 2 モード設定カード（メンバー）または、（ビジター）をかざすと登録済みのICカード情報が一括削除されます。



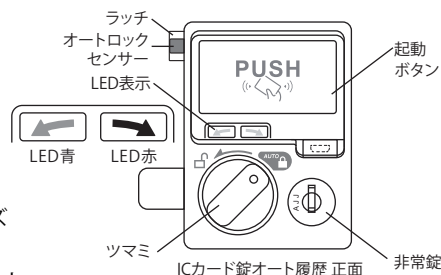
モード設定カードをかざすことで、モードが変更になることがあります。

【ICカード錠オート履歴の使い方】

1.お使いになる前に

①ICカードについて

- 本製品は、FeliCa、MIFAREに対応しています。
※ FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
※ MIFARE ISO/IEC14443 TypeAは、NXPセミコンダクターズの登録商標です。
- 本製品のご利用いただくには、ICカード錠オート履歴用カードセット（別売）が必要です。
※ ICカード錠オート履歴用カードセットには、「モード設定カード（メンバー）」、「音量設定カード」、「メンバー登録カード」、「メンバー削除カード」、「履歴抽出カード」が含まれています。



本製品は、ビジーモードでのご利用はできません。

②オートロック機能について

- 本製品は、扉を閉めることで自動で鍵がかかるオートロック機能があります。
- ICカードを登録していない状態で扉を閉めてロックがかかってしまった場合、非常解錠キーで解錠する必要があります。

②履歴機能について

- 本製品は、解錠、施錠に使用したICカードの番号と操作した時刻（分単位）を履歴として内部メモリに記録することができます。また、その履歴情報は、抽出することができます。
- 本製品やパソコンの不具合により履歴データが保存できなかった場合または履歴データが破損した場合、履歴データの内容の保証は致しかねます。
- 本製品は、履歴の記録を行うため、パソコンと接続して時刻合わせを行う必要があります。履歴の時刻がずれないように、パソコンの時刻を正確にあわせた上で、履歴取得や電池交換の際など定期的に時刻合わせを行ってください。
- 施錠時刻は、解錠操作の後、施錠状態になったかを内部のマイコンが定期的に確認し、自動的に記録されます。実際の施錠操作と最大1分程ずれる可能性があります。
- 解錠後に扉を開けたまま放置しないでください。電池消費量が増え、電池交換時期が早まる可能性があります。

③非常解錠キーについて

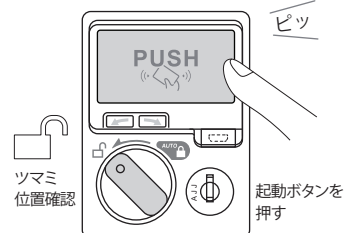
- ICカードを紛失された場合など、非常時の解錠には、非常解錠キー（別売）が必要です。

④電池について

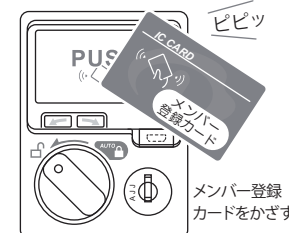
- 本製品は、単3 アルカリ乾電池 4本で動作します。新品乾電池の寿命の目安は 1日 10回使用して約2年です。
- 納品時にセットされている電池は動作確認用です。新品乾電池の寿命を保証するものではありません。
- 電池交換の方法。（P.23）
- 電池残量の確認方法。（P.23）

2.ICカードの登録方法

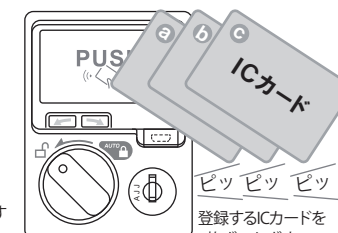
1 ツマミが になっていることを確認して、起動ボタンを押してください。



2 登録カードをかざしてください。登録モードが開始されます。



3 登録したいICカード錠をかざします。複数のカードを1枚ずつ、続けてかざすことで、連続して登録できます。



4 再度メンバー登録カードをかざすと登録モードが終了します。



⚠

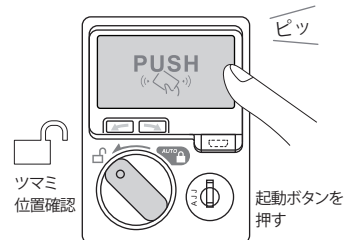
- 最後の操作から10秒間操作しないままにすると登録モードは、自動的に終了します。
- すでに登録されているICカードをかざすと「ビピッ」と鳴りますが、登録情報に変更はありません。
- ICカードの最大登録数は500枚です。501枚目は、登録できずに「ピーッ」とエラー音が鳴ります。その際は、4のICカードの削除方法で登録枚数を減らしてから、登録してください。

3.ICカードの追加登録方法

5と同じ要領で登録してください。登録済みのICカード情報は消えずに登録できます。

4.ICカードの削除方法

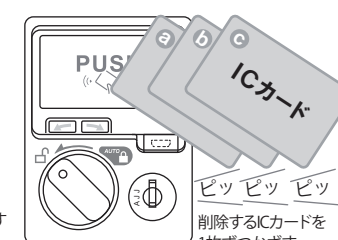
1 ツマミが になっていることを確認して、起動ボタンを押してください。



2 削除カードをかざしてください。削除モードが開始されます。



3 削除したいICカード錠をかざします。複数のカードを1枚ずつ、続けてかざすことで、連続して削除できます。



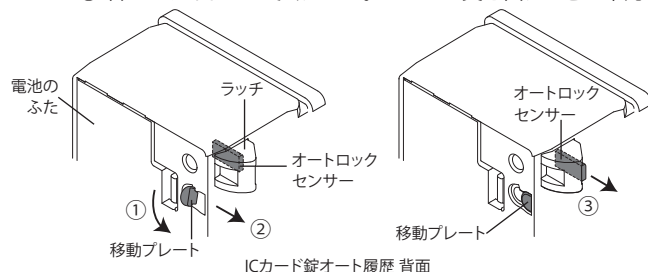
4 再度メンバー削除カードをかざすと削除モードが終了します。

⚠

- 最後の操作から10秒間操作しないままにすると削除モードは、自動的に終了します。
- すでに削除されたICカードや、登録されていないICカードをかざすと、「ピーッ」とエラー音が鳴ります。

5.オートロックセンサーの出し方

- ① 移動プレートを引き上げて
- ② 右にスライドさせてください。
- ③ オートロックセンサーが本体から突き出たことを確認してください。



⚠ ICカードを登録した後にオートロックセンサーを出してください。未登録のままロックがかかると、非常解錠キーでの解錠が必要になります。

6.解錠方法

- ① 起動ボタンを押してください。
- ② ICカードをかざします。
- ③ ICカードをかざして5秒以内にツマミを🔒に回して解錠します。



- ⚠
- ・ ツマミは🔒の方向に「ビビッ」と音がするまで回してください。途中で放すと施錠位置まで戻ってしまいます。
 - ・ 5秒以内にツマミを回さないと、「ピーッ」というエラー音と共に操作前の状態に戻ります。最初からやり直してください。

7.施錠方法

- ① 扉をゆっくりと閉めてください。
- ② 自動的にツマミが🔒へ回り、施錠されます。



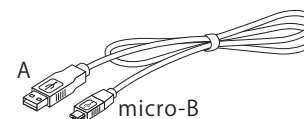
- ⚠
- ・ 扉を閉めるときは、ツマミを持たないでください。オートロック機能が作動しないことがあります。
 - ・ 扉を閉める前にオートロックセンサーに触れると、施錠状態になることがあります。施錠状態になってしまったときは、2の解錠操作をしてから、再度扉を閉めてください。

8.履歴プログラムのインストール

- インターネットにつながる環境が必要です。
パソコン・通信用USBハースは、お客さままでご用意ください。



パソコン (USBポート付)



通信用USBハース (A-micro-B)

- ・ 他のすべてのプログラムを終了させてください。
- ・ セキュリティソフト (アンチウイルスソフト、ファイアウォールソフトなど) を一時的に終了させることを推奨します。
- ・ 企業のパソコンにプログラムをインストールする場合は、システム管理者やセキュリティ管理者にご確認ください。

パソコン	IBM PC/AT互換機 ・CPU:Pentium III 450MHz以上 ・ハードディスクの空き容量:1GB以上を推奨 ・RAM:512MB以上 ・USBポート (USB2.0 TypeA) ※注3	OS	Windows7以降 (7/8/8.1/10) 日本語版のみ
		ディスプレイ	解像度 1280×720以上

注1) 上記すべてのパソコンについての動作を保証するものではありません。

注2) すべてのパソコンに対して、システムサスペンド、スリープ、ハイバネーションでの動作を保証するものではありません。

注3) セキュリティソフト等によるUSBポートの通信規制や遮断が行われていないこと。(不明な場合は、システム管理者もしくはセキュリティ管理者にご確認ください。)

9.OPNUS時計・履歴管理プログラムのインストール

- ① ダウンロードページ <http://www.opnus.co.jp/support/download/> にアクセスして「OPNUS時計履歴管理プログラム.zip」をダウンロードします。(Windows版のみ)
- ② ダウンロードしたプログラム(zipファイル)をダブルクリックして展開します。展開した「OPNUS時計履歴管理」フォルダをパソコンの「C:¥Program Files」フォルダ内にコピーしてください。
- ③ 「C:¥Program Files¥OPNUS時計履歴管理」フォルダを開き「CDM21224_Setup.exe」を実行してください。(CDM21224_Setup.exeは錠をパソコンに認識させるデバイスドライバです。)
- ④ 「C:¥Program Files¥OPNUS時計履歴管理」フォルダを開き「OPNUS時計履歴管理.exe」のショートカットをデスクトップ上に作成してください。(※)



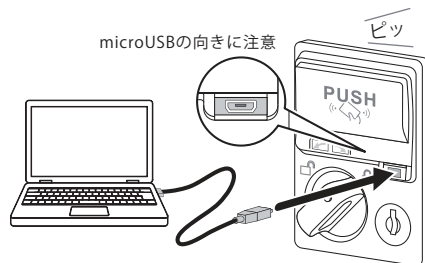
※ 「OPNUS時計・履歴管理プログラム」の最新情報と、詳しいインストール方法 (インストールマニュアル) は、<http://www.opnus.co.jp/support/download/> にアクセスし、ご覧ください。

※ バージョン毎に画面表示やデザイン・機能が変更になる場合があります。ご了承ください。

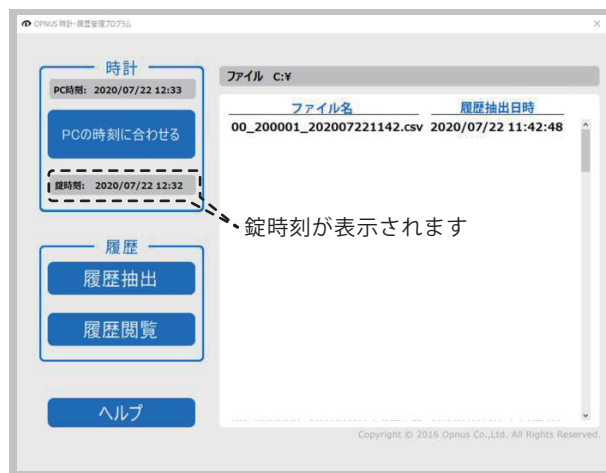
10. 錠の初期設定

1 パソコンと錠をUSBハーネスでつなぎます。

- ※ 錠にあるUSBコネクタのシャッターを持ち上げながら、microUSBの向きに注意して差し込んでください。
- ※ 錠が自動で起動します。

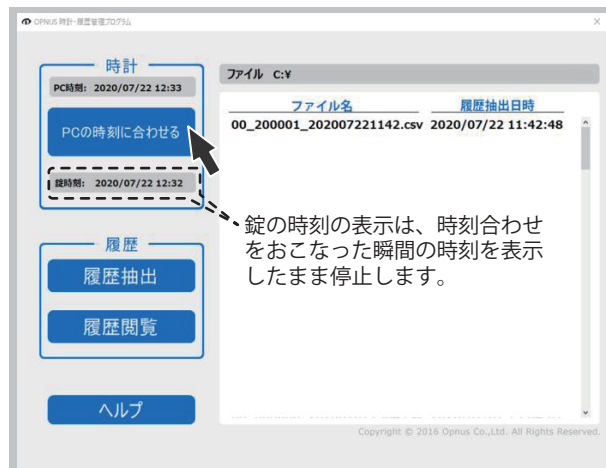


2 パソコンのデスクトップにある「OPNUS時計・履歴管理プログラム」のショートカットをダブルクリックしてプログラムを起動し、メインウインドウを表示させます。正常につながるとプログラムに錠の時刻が表示されます。



※ 錠の時刻はパソコンの時刻とあっていない場合があります。

3 プログラムの「PCの時刻に合わせる」ボタンを押します。時刻合わせが終了するとブザーが「ピピッ」と鳴ります。



⚠ 時刻合わせ中は、錠の開け閉めやUSBハーネスを抜く等の他の操作は、おこなわないでください。

※ 「PCの時刻に合わせる」ボタンを押したときに「錠とPCをUSBハーネスで接続してください」のサブウインドウが表示されたら、USBハーネスの接続を確認してください。

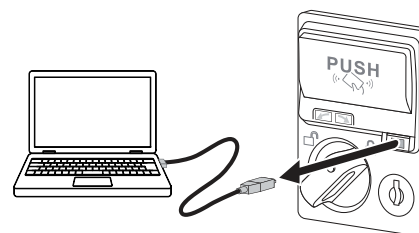


※ 「PCの時刻に合わせる」ボタンを押したときに「時刻合わせエラー発生」のサブウインドウが表示されたら、一度USBハーネスを接続しなおしてから、操作をやり直してください。



4 プログラムウインドウ右上の「✕」ボタンを押して、プログラムを終了してください。

5 USBハーネスを錠から抜いてください。



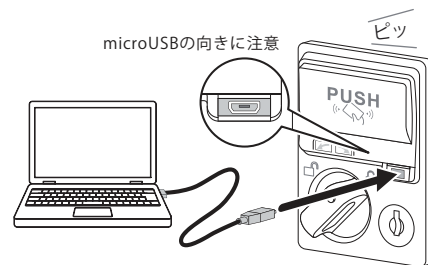
⚠ パソコンと錠をUSBハーネスでつないでから、3分間錠の操作をしないと、錠がスリープモード(LEDの点滅後 消灯)になります。

11.履歴の抽出方法

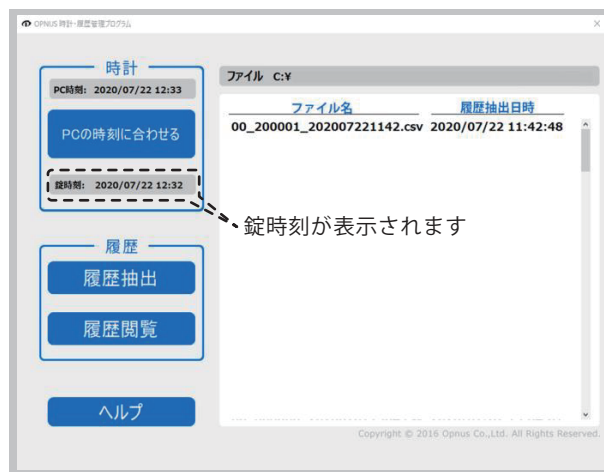
1 パソコンと錠をUSBハースでつなぎます。

※ 錠にあるUSBコネクタのシャッターを持ち上げながら、microUSBの向きに注意して差し込んでください。

※ 錠が自動で起動します。



2 パソコンのデスクトップにある「OPNUS時計・履歴管理プログラム」のショートカットをダブルクリックしてプログラムを起動し、メインウインドウを表示させます。正常につながるとプログラムに錠の時刻が表示されます。



※ 錠の時刻はパソコンの時刻とあっていない場合があります。

3 「履歴抽出」ボタンを押すとサブウインドウが開きます。



4 サブウインドウの指示に従い、履歴抽出カードを錠にかざすと履歴抽出がはじまります。サブウインドウに「履歴抽出中」と表示されます。



履歴抽出中は、錠の開け閉めやUSBハースを抜く等の他の操作は、おこなわないでください。

※ 履歴抽出カードをかざしたときに「履歴抽出エラー発生」のサブウインドウが表示されたら、一度USBハースを接続しなおしてから、操作をやり直してください。

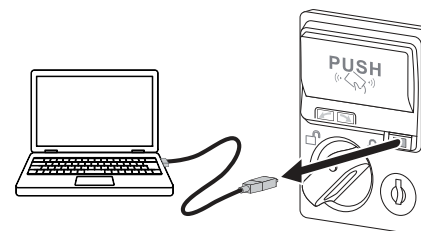


5 履歴抽出が終了するとブザーが「ピピッ」となります。※履歴抽出後自動的に時刻合わせがおこなわれます。



6 プログラムウインドウ右上の「X」ボタンを押して、プログラムを終了してください。

7 USBハースを錠から抜いてください。



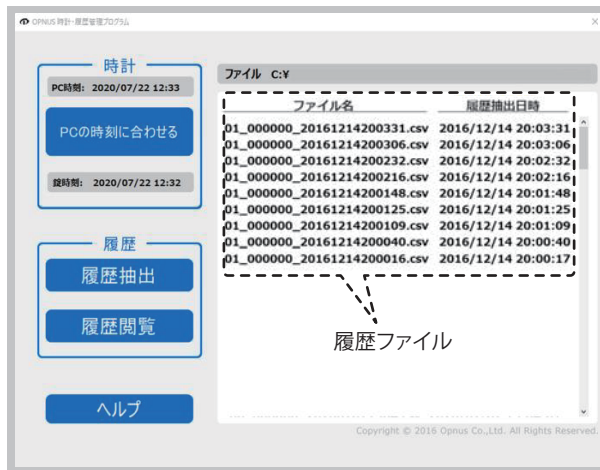
- パソコンと錠をUSBハースでつないでから、3分間錠の操作をしないと、錠がスリープモード(LEDの点滅後 消灯)になります。
- 錠は、履歴抽出後、5秒後にスリープモード(LED点滅後消灯)になります。

12.履歴の閲覧方法

- 1 パソコンのデスクトップにある「OPNUS 時計・履歴管理プログラム」のショートカットをダブルクリックしてプログラムを起動します。

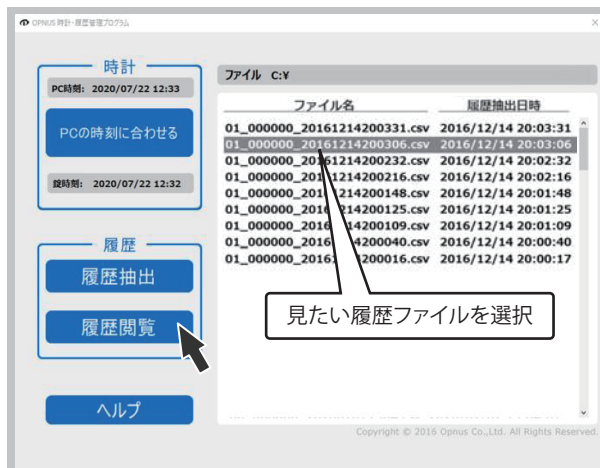


- 2 プログラムに履歴ファイルが表示されます。
※履歴ファイルは、錠とパソコンがUSB/ハースでつながっていても、つながってなくても閲覧可能です。



《ファイル名について》
例：01_123456_201606300830.CSV
A B
A：01_123456 / 錠ID
B：201606300830
/ 2016年6月30日08時30分
※ 錠IDとは、製品に記録されている識別番号です。

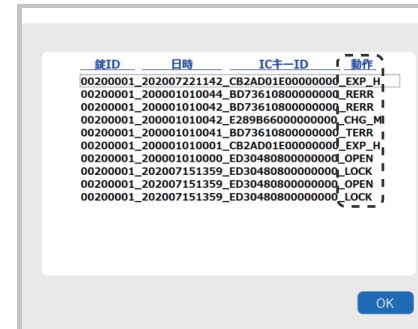
- 3 履歴をみたいファイルを選択して「履歴閲覧」ボタンを押します。



※ 履歴ファイルを選択せずに「履歴閲覧」を押すと、「履歴ファイルを選択してください。」のサブウィンドウが表示されます。



- 4 サブウィンドウが開き履歴を閲覧できます。
※履歴保持件数：最大5,000件(古いものから削除されます。)



《動作表記の意味》

- OPEN : 通常解錠
 - LOCK : 通常施錠
 - EOPEN : イレギュラーな解錠
(非常解錠を含む)
(カード認証がない解錠)
 - ELOCK : イレギュラーな施錠
(オート施錠時、ツマミ位置は施錠だが、ロックされていない状態)
 - R ERR : ICカード読み取りエラー
(登録されていないカードがかざされたとき)
 - T ERR : タイムアウトエラー
(ICカード承認後、時間内に解錠されなかったとき)
(オート施錠時、ツマミが施錠位置に達しなかったとき)
 - EXP H : 履歴抽出
 - CHG M : モード設定カード (メンバー)
(登録済みICカードの全削除)
 - ICREG : ICカード登録
 - ICDEL : ICカード削除
- ※ 動作表記の意味は、READMEテキスト(ヘルプボタンを押す)の中にも記載されています。

- 5 履歴の閲覧が完了しましたら、サブウィンドウの「OK」ボタンを押します。

- 6 プログラムウィンドウ右上の「X」ボタンを押して、プログラムを終了してください。

【ICカード錠、ICカード錠オート履歴 共通】

1.電池のセット（交換）の方法



警告

- ・ICカード錠の電池が液漏れした場合は、液に触れないでください。液に触った手で目に触ると失明や目に障害を負うおそれがあります。



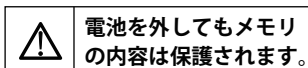
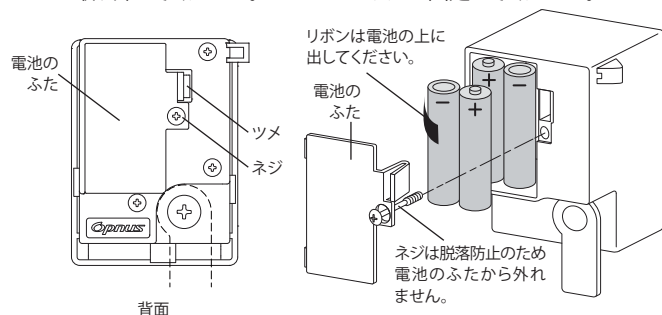
注意

- ・乾電池は、必ず単3形アルカリ乾電池を使用してください。
- ・乾電池をセットするときは、入れ方の指示に従い ⊕ ⊖ の向きを間違えないように正しく入れてください。
- ・長期間使用しないときは、乾電池を本体から抜いてください。
- ・異なる種類の乾電池や、古いもの、新しいものを混ぜて使用しないでください。
- ・電池は約2年を目途に交換してください。

- 1** 本体背面のネジを反時計回りに回して外し、電池のふたのツメを押して、ふたを取り外してください。

- 2** 単三アルカリ乾電池を下図のとおり、ケースに入れて、ふたをして、ネジを時計回りに回して、ふたを固定してください。

- 3** 起動ボタンを押し、ブザーが「ピッ」となるのを確認してください。



2.電池の残量について

電池の交換時期が近づくと、起動ボタンを押したときの音と光でお知らせします。早めに乾電池を交換してください。

状態	電池交換メッセージ	LED	音
①	通常の状態。	ゆっくり点滅	「ピッ」
②	早めに交換してください。	ゆっくり点滅	「ピピッ ピピッ ピピッ」
③	すぐに交換してください。	素早く点滅	「ピピピッ ピピピッ」



- ・ICカード錠オート履歴の電池残量の表示は、①と③のみです。
- ・音量を無音に設定している場合は、③のLEDが素早く点滅するのみの表示です。

3.音量の設定方法

- 1** 起動ボタンを押してください。

初期設定では、音量はボリューム大に設定されています。

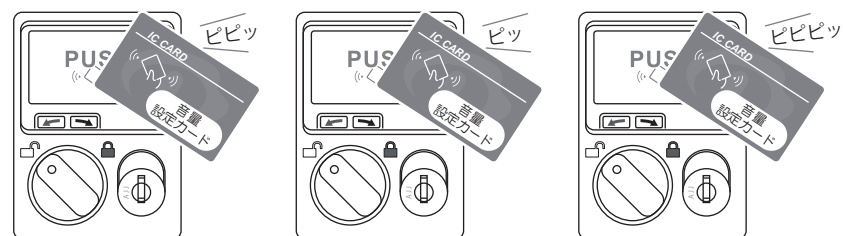


ツマミの位置は、・ どちらでも設定できます。



- 2** 音量設定カードをかざしてください。

カードをかざすごとに、「ボリューム小」⇒「無音」⇒「ボリューム大」の順番に設定が切り替わります。設定したい音量のところで、かざすことをやめ、LEDの点滅が終了すると、設定完了です。



ボリューム小 ⇒⇒⇒ 無音 ⇒⇒⇒ ボリューム大 ⇒⇒⇒

- 3** 設定完了後に再び起動ボタンを押して、希望の音量に設定されたことを確認してください。



無音に設定した場合でも、登録や削除操作のときは、音（ボリューム小）がなります。

4.故障かな？と思ったら（ICカード錠、ICカード錠オート履歴について）

以下のことをお調べの上、それでも不具合が解決されない場合は、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店または、当社営業担当までご連絡ください。

※文章中の施錠は 、解錠は  を表します。

状態	確認事項	対処方法
ICカードをかざしても反応しない	起動ボタンを押しましたか？	起動ボタンを押してからICカードをかざしてください。
	規格外のICカードをかざしていませんか？	FeliCaもしくは、MIFARE規格のICカードをかざしてください。
	電池切れになっていませんか？	新しいアルカリ乾電池を入れてください。
起動ボタンを押しても反応しない	電池切れになっていませんか？	新しいアルカリ乾電池を入れてください。
起動ボタンを押しても音がしない	音量設定が「無」になっていませんか？	音量設定カードで音量を変更してください。
ツマミが回らない	ICカードをかざしましたか？	手順通りにICカードをかざしてからツマミを回してください。
	扉はきちんとしまっていますか？	扉をきちんと閉めてから操作してください。
	扉に荷物が挟まっていませんか？	荷物をきちんと入れてから操作してください。
ICカードをかざすとエラーになる	施錠したときと同じICカードをかざしましたか？	施錠したときと同じICカードをかざしてください。
	ICカードをかざしてから5秒以内にツマミを回しましたか？	5秒以内にツマミを回してください。
	ツマミを回しながらICカードをかざしていませんか？	ICカードをかざしてからツマミを回してください。
	<ICカード錠：メンバーモード> ICカードを登録しましたか？	ICカードを登録手順に従って登録してから使用してください。
ツマミを回したらエラーになった	ツマミを施錠（解錠）位置まできちんと回していますか？	ツマミを施錠（解錠）位置まできちんと回してください。
<ICカード錠：メンバーモード> メンバー登録カードをかざしたらエラーになる	メンバーモードに設定していますか？	モード設定カード（メンバー）でモード変更してください。
	ツマミを解錠位置まできちんと回していますか？	ツマミを解錠位置まできちんと回してください。
<ICカード錠：メンバーモード> メンバー削除カードをかざしたらエラーになる	メンバーモードに設定していますか？	モード設定カード（メンバー）でモード変更してください。
	ツマミを解錠位置まできちんと回していますか？	ツマミを解錠位置まできちんと回してください。
<ICカード錠>モード変更ができない	ツマミを解錠位置まできちんと回していますか？	ツマミを解錠位置まできちんと回してください。
乾電池を交換しても反応しない	使い古しの乾電池を使っていませんか？	新品のアルカリ乾電池に交換してください。
	乾電池を正しい向きでセットしましたか？	アルカリ乾電池を正しい向きでセットしてください。
電池の減りが早い	アルカリ乾電池以外の電池を使用していませんか？	アルカリ乾電池を使用してください。
	古い乾電池を混ぜて使用していませんか？	新品のアルカリ乾電池に交換してください。

状態	確認事項	対処方法
<ICカード錠オート履歴> 扉を開けてもオートロックしない	ラッチ部分のオートロックセンサーは出していますか？	手順通りにオートロックセンサーを出してください。
<ICカード錠オート履歴> 履歴がとれない	USBハースできちんと錠とPCは接続されていますか？	USBハースを差しなおしてください。 USBハースが断線していないか確認してください。
	履歴抽出カードをかざしましたか？	履歴抽出方法を最初からおこなってください。
	「OPNUS時計・履歴管理プログラム」の履歴抽出ボタンを押してから履歴抽出カードをかざしましたか？	履歴抽出方法を最初からおこなってください。
<ICカード錠オート履歴> 履歴の時間が合っていない	錠の時刻設定をしていますか？	もう一度、錠の初期設定をしてください。
	PCの時刻は合っていますか？	PCの時刻を確認してください。
	USBハースできちんと錠とPCは接続されていますか？	通信用のUSBハースを使用してください。 USBハースを差しなおしてください。 USBハースが断線していないか確認してください。
<ICカード錠オート履歴> 履歴ファイルがない	履歴ファイルを保存先から移動していませんか？	ファイル名でPC内のファイルを検索してください。
	保存先フォルダ名を変更していませんか？	フォルダ名を『OPNUS時計履歴管理』にしてください。
<ICカード錠オート履歴> PCと錠をUSBハースで接続し、履歴プログラムを起動しても錠がPCに認識されない	USBハースできちんと錠とPCは接続されていますか？	USBハースを差しなおしてください。 USBハースが断線していないか確認してください。
	PCのUSBポートは正しく機能していますか？	PCの性能・設定により、認識されるまで時間がかかる場合があります。（5～15秒程） PCのUSBポートの不具合の可能性があります。他のUSBポートに接続してみてください。
	USBハースは通信用を使用していますか？断線していませんか？	他のUSBハースに変えて接続してみてください。
	「OPNUS時計・履歴管理プログラム」を正しくインストールしましたか？	インストールマニュアルを確認してください。
	セキュリティソフト等によりUSBポートの通信が規制、遮断されていませんか？	セキュリティソフト等の設定を確認してください。

【製品に関するお問い合わせ先】

お客様相談センター
フリーダイヤル 0120-077-266